

# (R7)竹松自動車教習所コース補修工事

件名	(R7)竹松自動車教習所コース補修工事				番号	1/5
図名	表紙				縮尺	—
業務隊長	管理科長	営繕班長	管財係	営繕主任	営繕主任	設計者 (工事企画係)
了	了	了	了	了	了	了
陸上自衛隊 竹松駐屯地業務隊					令和7年 7月 16日	

# 仕 様 書

## 1 件 名

(R7)竹松自動車教習所コース補修工事

## 2 場 所

長崎県大村市富の原1-1000 陸上自衛隊竹松駐屯地 自動車教習所コース

## 3 概 要

(1) 基層（粗粒度アスコン t = 5cm）	374㎡
(2) 表層（密粒度ギャップアスコン 改質Ⅱ型 t = 5cm）	374㎡
(3) アスファルト取り壊し	374㎡
(4) 不陸整正	374㎡
(5) 既設路盤掘削	18.7m <sup>3</sup>
(6) アスファルト舗装版切断	120m
(7) 産業廃棄物処理	1式

## 4 一般事項

- 本工事の施工は、関係諸法令、条例等を遵守するものとし、本特記仕様書による他、設計図面、防衛省整備計画局制定土木工事共通仕様書によるものとする。
- 本工事に際し疑義を生じた場合は、監督官と協議しその指示に従うものとする。
- 本工事に際し、仕様書に記載なき事項で取扱い上及び技術的に当然施工すべき事項については、請負業者の責任において施工するものとする。
- 本工事に際し、他の構造物等に損傷を与えないよう十分注意するものとし、万一損傷を与えた場合は、請負業者の責任において原形復旧するものとする。
- 本工事に際し、事故防止、火災防止及び第三者への被害等の安全管理には十分注意することとし、万一災害等発生した場合は、請負業者の責任において処置するとともに、速やかに監督官に報告するものとする。
- 本工事に使用する電気及び水は請負業者が準備するものとする。なお、官側の電気及び水を使用する場合は監督官の承認後使用するものとする。ただし、後日料金を徴収する。
- 工事写真は、施工前、施工中、施工後、主要な工事段階ごと、隠ぺい箇所、全ての使用材料及び発生材、監督官の指示する箇所を撮影し、A4縦サイズに3枚を基準に整理し監督官に提出するものとする。なお、写真データは工事完了後確実に破棄するものとする。
- 本工事で生じた発生材のうち、監督官が指示する鉄屑等については、監督官が指定する場所へ搬入し、所定の調書を添えて官側へ引き継ぐものとする。その他の発生材は、請負業者の責任においてすべて構外に搬出し、関係法令に従い適正に処分するものとする。
- 作業終了時は、現場の清掃及び片付けを実施するものとする。
- 本設計図書に記載されている寸法等は標準寸法であるため、施工に先立ち現場調査の上、実施するものとする。
- その他監督官の指示する書類を提出するものとする。

## 5 特記事項

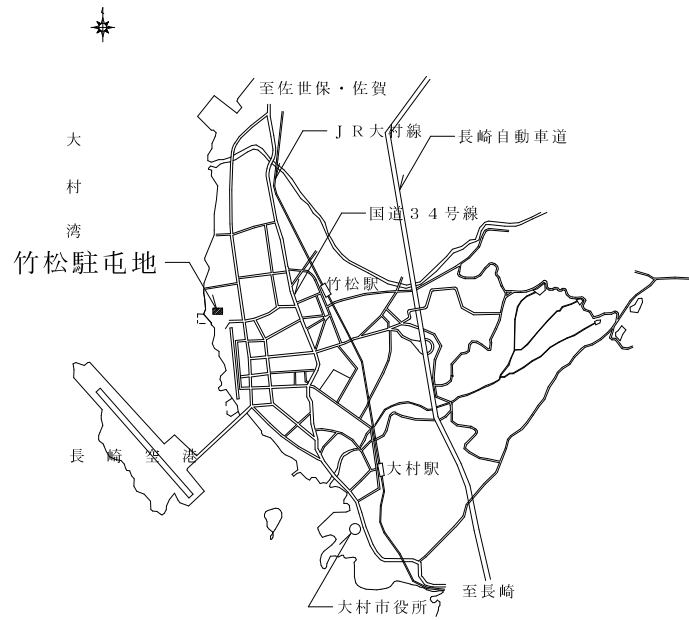
- プライムコートの散布にあたり、縁石などの構造物を汚さないようにしながら、アスファルトディストリビュータ、又はエンジンブローヤで均一に散布するものとする。
- プライムコートを施工後、交通を開放する場合は、瀝青材料の車輪への付着を防ぐため、粗目砂などを散布するものとする。
- 加熱アスファルト混合物の舗装作業は気温が5度以下の時施工しないものとする。また、雨が降り出した場合、敷均し作業を直ちに中止し、すでに敷均した箇所の混合物を速やかに締固めて、仕上げを完了するものとする。
- 加熱アスファルト混合物の敷均しにあたり、敷均し機械は、施工条件にあった機種のアスファルトフィニッシャーを選定するものとする。
- 加熱アスファルト混合物を敷均した時の混合物の温度は110℃以上にするものとする。
- 加熱アスファルト混合物を敷均した後、ローラにより締め固めるものとする。
- 加熱アスファルト混合物をローラによる締固めが不可能な箇所は、タンバ、プレート及びコテ等で締固めを実施するものとする。

- アスファルト殻については、請負業者の責任において構外に搬出し、適切に処分するものとする。又、掘削した碎石は監督官の指示する場所に収集、運搬し集積を行うものとする。
- 工事完了後、現場となった路面に、散水等を行い、確実に清掃を行うこと。
- 施工可能日は、監督官と調整するものとし、基準として令和7年11月11日～同年11月18日または、12月17日～12月26日に実施するものとする。

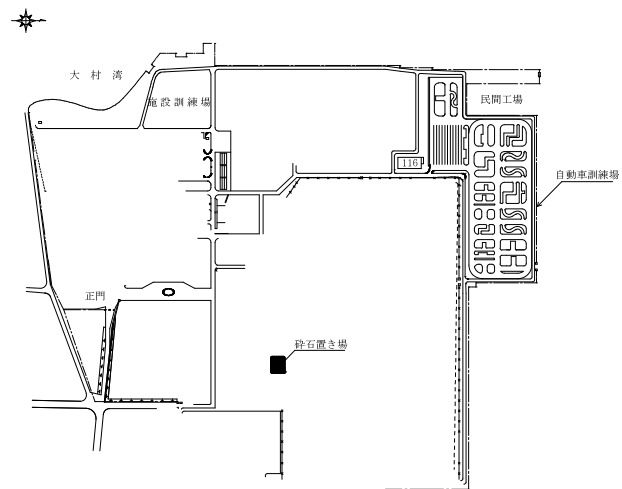
## 6 提出書類

- 工事着工届
- 工事工程表
- 現場代理人等通知書
- 工事完成届
- 使用材料の出荷証明書
- 工事写真帳
- 発生材報告書
- 工事打合せ簿

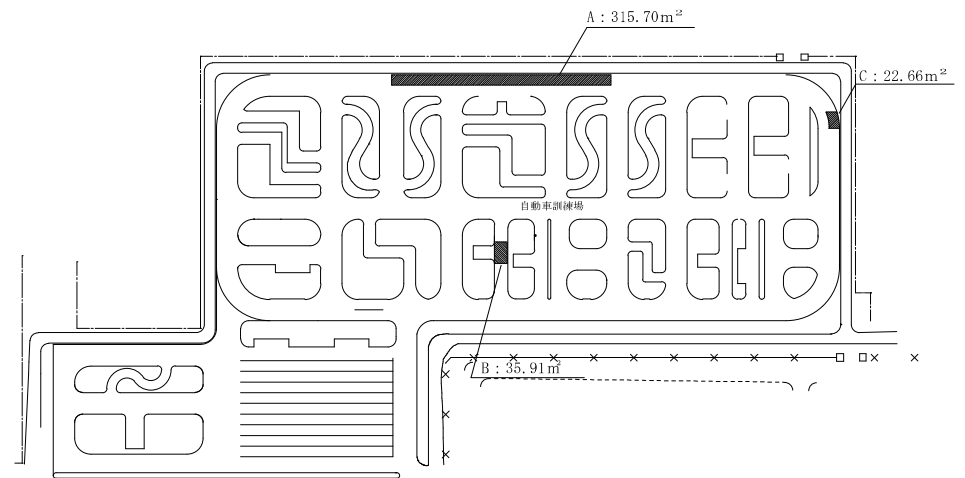
件 名	(R7) 竹松自動車教習所コース補修工事	図 面 号	2/5
図 名	仕様書	縮 尺	—
陸上自衛隊 竹松駐屯地業務隊		令和7年 7月 16日	



案内図 S=1:X

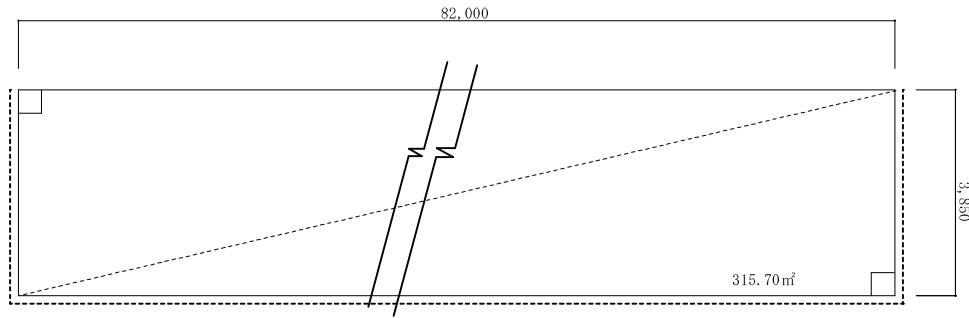


駐屯地配置図 S=1:X

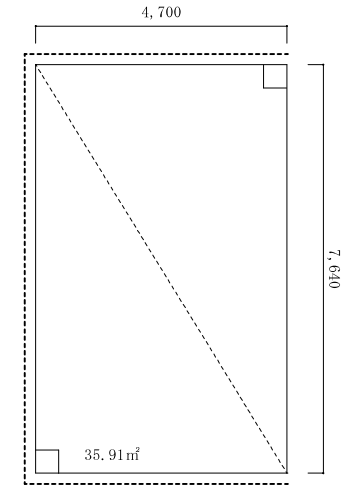


アスファルト道路舗装補修箇所 配置図 S=1/2000

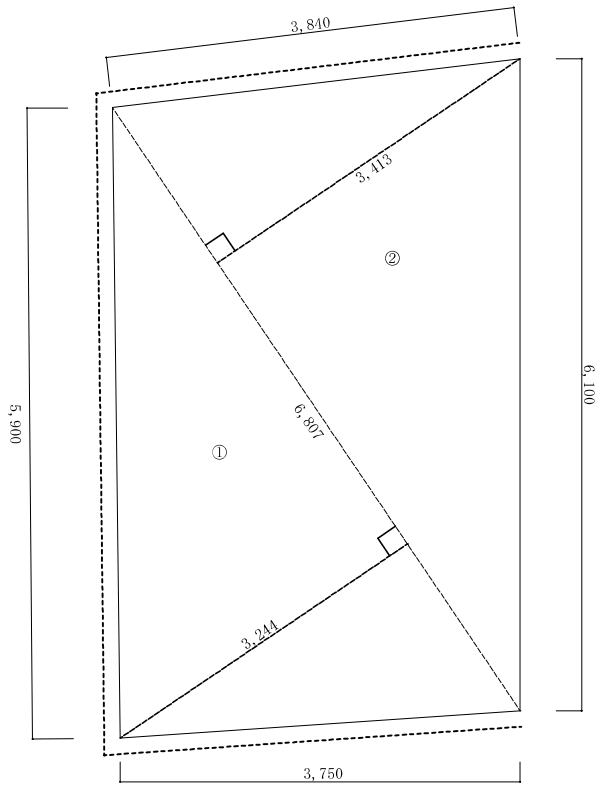
件名	(R7) 竹松自動車教習所コース補修工事	図面番	3/5
図名	配置図・案内図	縮尺	—
陸上自衛隊 竹松駐屯地業務隊			令和7年 7月 16日



A舗装面展開図 S = 1 : 100



B舗装面展開図 S = 1 : 100

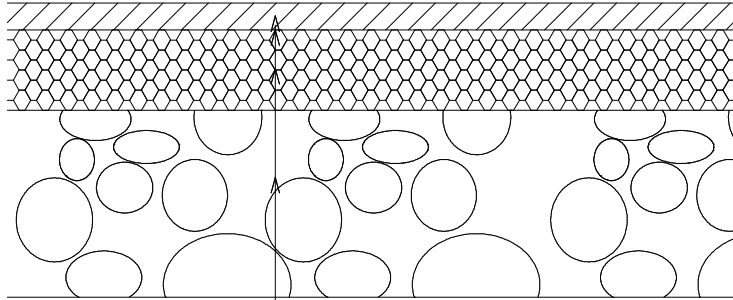


C舗装面展開図 S = 1 : 50

C舗装面展開図面積	
① : 11.04m <sup>2</sup>	② : 11.62m <sup>2</sup>
11.04+11.62=22.66	
合計 : 22.66m <sup>2</sup>	

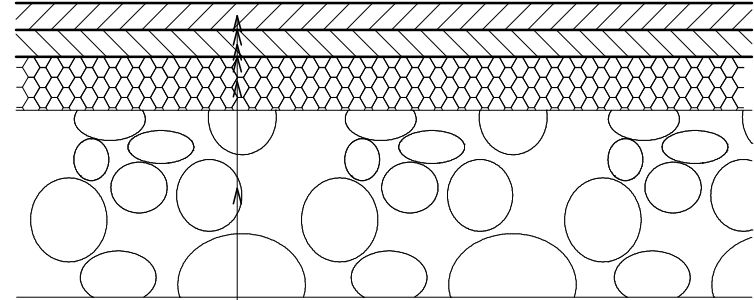
凡例	舗装切断箇所
A : 82,000+3,850+3,850=89,700	
B : 7,640+4,700+4,700=17,040	
C : 5,900+3,840+3,750=13,490	
89,700+17,040+13,490=120,230	
≒120m	
合計 : 120m	

件名	(R7) 竹松自動車教習所コース補修工事	図面番	4/5
図名	展開図	縮尺	—
陸上自衛隊 竹松駐屯地業務隊		令和7年 7月 16日	



表層	: 再生密粒度アスコン(13)	t=50mm
	: フライムコート(PK-3)	
上層路盤	: 再生粒度調整碎石(M-30)	t=150mm
下層路盤	: 再生クラッシュラン(RC-40)	t=350mm

既設アスファルト道路舗装断面図 S=1/10



表層	: 密粒度キヤップアスファルト改質II型	t=50mm
	: タックコート(PK-4)	
基層	: 粗粒度アスコン	t=50mm
	: フライムコート(PK-3)	
上層路盤	: 再生粒度調整碎石(M-30)	t=100mm(既設使用)
下層路盤	: 再生クラッシュラン(RC-40)	t=350mm(既設使用)

新設アスファルト道路舗装断面図 S=1/10

件名	(R7) 竹松自動車教習所コース補修工事	図面番号	5/5
図名	断面図	縮尺	—
陸上自衛隊 竹松駐屯地業務隊		令和7年 7月 16日	